

アジア圏初となる国際クルーズ客船「シルバー・ノバ」が 釧路港に寄港しました ～SDGs として環境に配慮されたクルーズ客船～

釧路市 水産港湾空港部 港湾空港課

2024年9月27日にアジア圏初となる国際クルーズ客船「シルバー・ノバ」が釧路港耐震・旅客船ターミナルへ寄港しました。本船は、ロイヤル・カリビアン・グループの最高級ブランドのひとつである「シルバークルーズ」に所属するクルーズ客船で、2023年8月に運航を開始した新造船で、燃料電池とバッテリーを組み合わせたハイブリッド電源を搭載し、クルーズ業界で初めて港での排気ガスフリーを実現するほか、LNG(液化天然ガス)を主燃料とした環境に配慮したクルーズ客船です。

当日は降雨の中での寄港となりましたが、多くの方が岸壁に来場し、歓迎いたしました。船内で開催した入港歓迎セレモニーでは、副市長から船長へ入港盾や花束、地酒、アイヌ工芸品の贈呈を行い、船長をはじめ関係者皆様に喜んでいただけたことと思います。併せて、日本の伝統文化にも触れていただきたく、箏と尺八の歓迎演奏を披露し、大変興味深く聴いていただきました。



「シルバー・ノバ」が釧路港耐震・旅客船ターミナルへ寄港

また、岸壁上では観光案内所や物販ブース、キッチンカーが並び、お見送りの際は地元の高校生によるお見送りスピーチや吹奏楽演奏も披露し、圧巻のパフォーマンスに会場は大盛り上がりでした。

今後も、クルーズ客船の乗客や乗員の皆様に楽しんでいただき、釧路が思い出の港になるよう、市民一体となって「おもてなし」の気持ちをお届けしたいと考えております。



入港歓迎セレモニー



吹奏楽演奏